

茂山狂言会



棒縛



昆布売



延命袋

(写真：桂秀也)

狂言は、台詞と仕草によって構成され、一般庶民のちょっとした失敗話などユーモラスに富んだ喜劇で、現代の「コント」のようなものです。

「古典」や「伝統」という言葉に「難しいもの」という先入観を持たれるかもしれませんが、狂言の台詞は口語体がいられ、現代の言葉と余り変わりません。

きっとお楽しみいただけると思いますので、「食わず嫌い」をせずに、是非一度ご賞味ください。

2022. 6.18 (土)

19 時 開演 (18 時 30 分開場)

白馬ウイング 21 文化ホール



全席自由

チケット料金：一般 2,000 円 高校生以下 1,000 円 (当日券は 200 円増し)

白馬ウイング 21 ホール友の会会員 1,500 円

プレイガイド：ウイング 21 / 明寿堂 / 道の駅白馬 / クリーニングアピア白馬店 / 太田薬局 / 喫茶店ふう
北村時計店 / 大町市文化会館 / 白馬村教育委員会事務局 (保健福祉ふれあいセンター 3 階)

主 催：白馬ウイング 21 芸術文化シリーズ実行委員会

お問い合わせ：白馬村教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

TEL：0261-85-0726 E-mail：gakushu@vill.hakuba.lg.jp

出演者紹介



茂山 あきら (しげやま あきら)

3歳の時狂言「以呂波」のシテにて初舞台以来、「三番三」「釣狐」「花子」を披く。1976年、花形狂言会を発足。古典狂言のみならず、小松左京作SF狂言「狐と宇宙人」他、『木竜うるし』（1978）、『死神』（1981）等の新作狂言や千年振りの復曲「袈裟求」など演じ、狂言の大衆化に力を注いできた。またアメリカ人ジョナ・サルズと共に「NOHO（能法）劇団」を主宰。ベケット・イエイツの不条理演劇、英語狂言など海外公演を行う。その他演出家としてもオペラ、新劇、能法劇団、新作狂言等を手掛け「舞台マルチ人間」を目指している。



茂山 茂 (しげやま しげる)

1975年故五世茂山千作の次男として生まれる。四歳で初舞台。1994年に、従妹の宗彦、逸平らと「花形狂言少年隊」を結成し活動する。また2000年より2005年まで「教育的古典狂言推進準備研修練磨の会 TOPPA!」を千三郎、正邦（現千五郎）、宗彦、逸平、童司（現千之丞）と共に主催。2006年より「HANAGATA」を正邦（現千五郎）、宗彦、逸平、童司（現千之丞）と共に再開、2020年から「Cutting Edge KYOGEN」として活動している。自らの伎芸の研鑽だけではなく、次世代の育成にも力を注ぐ。2012年京都府文化賞奨励賞を受賞。



茂山 千之丞 (しげやま せんのじょう)

本名茂山童司。1986年、『魔法使いの弟子』（NOHO劇団）で初舞台。これまでに『千歳』、『三番三』、『釣狐』、『花子』を披き2018年12月三世千之丞を襲名。語学に堪能でNHK語学番組に出演をしていた他、国内外でバイリンガル狂言公演を行う。作・演出を手がける「新作」純「狂言集マリコウジ」、「ヒャクマンペン」を主宰。オペラの脚本・演出を手掛けるなど狂言師としての枠を超えて精力的に活動中。2019年第37回京都府文化賞奨励賞受賞。



丸石 やすし (まるいし やすし)

茂山千之丞と『運命の出会い』（自称）があり入門。NOHO劇団公演を含め、海外公演にも多数参加。1984年に、同門 網谷正美・松本薫らと共に「三笑会」を結成。27年間「狂言三笑会」を開催し、2011年のファイナル公演まで131回数を重ねた。落語家を目指していた時代もあり、師匠故二世千之丞の影響もあってか、観客を楽しませる解説・司会は大変好評を得ている。平成17年度京都府文化賞功労賞受賞。



島田 洋海 (しまだ ひろみ)

同門では珍しい二世狂言師。幼少の頃周りの人より少しだけ狂言に接して育ち、大学在学時、ハードな旅の途中に狂言師を目指す事を決意する。卒業後、2002年十三世・茂山千五郎（五世千作）に入門、師事を受ける。同年京都能楽養成会入会する。2009年京都能楽養成会を卒業し独立、同年京都能楽会に入会、故郷の岡山でも狂言普及のため活動している。2011年茂山家の同門5人で「五笑会」を結成。何か日本一といえる能力を付けるべく日々模索中。



増田 浩紀 (ますだ ひろき)

茂山あきらに師事。東住吉高校芸能文化科にて、授業の一環として茂山あきらに狂言を習い、狂言師となる事を決意。四天王寺国際仏教大学に入学と同時に、茂山千之丞社中「たけのこ会」に入門し、2002年、茂山あきら及び二世茂山千之丞に師事。2009年、京都能楽養成会を卒業。京都能楽会所属。2011年茂山家の同門5人で「五笑会」を結成。また、尾張万歳や、のぞきからくりなどの実演活動も行っている。

新型コロナウイルス感染症対策のお願い

- ・来場者把握のため、チケットの裏面に氏名と連絡先を記入の上でご来場ください。
- ・マスクの着用と入口での検温・手指消毒にご協力ください。
- ・入館・退館・休憩の際などは会話を控え、他のお客様との距離を保ってください。
- ・座席を制限していますので、間隔を空けてお座りください。
- ・歓声や声援は控え、拍手でお気持ちをを送りください。
- ・発熱、咳、倦怠感、味覚・嗅覚異常等の症状がある場合には来場をお控えください。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により日程や内容が変更となる可能性があります。